8月18～20日



松前町×まちづくりクラブ 姉妹都市交流の礎を作る

本市が運営する地域クラブ「まちづくりクラブ」に所属する中学生11人と、姉妹都市である北海道松前町の中学生12人が3日間の交流を行いました。まちづくりクラブは創設2年目。1年目は本市の中学生が松前町を訪れましたが、今年は松前町の中学生を迎え、友好を築く機会としています。

2日目には4つの班に分かれ、松前町から贈られた桜の木の見学や八幡堀巡り、市内散策、また安土の歴史や文化に触れながらお互いの親交を深めました。旧伴家住宅では、講師を招き歴史・文化・伝統・商業などさまざまな分野の話を聞き、本市の魅力を学ぶことができました。

9月5日



安土コミュニティエリア安全祈願祭・起工式

小学校、コミュニティセンター、消防団詰所、こどもの家を一体的に整備する「安土コミュニティエリア整備事業」の安全祈願祭・起工式が行われました。完成は、令和9年12月を目指しています。

この事業は、金田、島、桐原、岡山学区に続く5例目のエリア整備です。小学校の耐震不足や施設の狭隘（きょうあい）、コミュニティセンターの老朽化、こどもの家の定員不足、各施設の駐車場不足など、地域が抱える課題を解決します。

新しい施設では、子どもたちがより良い環境で学べるほか、地域の交流の場としても活用されます。また、災害が起きたときには、地域の防災拠点として、地域住民の安心・安全を支えます。

8月1日・7日・22日



親子でつくろう♪ ミニピザ教室

親子でミニピザ作りを楽しむ教室が岡山コミュニティセンターなどで行われ、3日間で市内の3～5歳とその保護者24組が参加しました。

親子は粉からこねた生地を直径12㎝ほどに伸ばし、水郷ブランド農産物のナスなどを自由気ままにトッピング。作業の合間には、ABCクッキングから派遣された講師から作り方のコツや、市職員から1日に必要な野菜の摂取量などを教わりました。

参加した子どもたちは「生地をこねたり野菜を乗せたりするのが楽しかった」と話し、保護者は「子どもが積極的にピザを作ってくれて驚いた。また家でも作りたい」と話していました。

8月30日



「まさか」に備える防災訓練

本市では毎年度、災害発生時に迅速かつ的確な応急対策活動ができるよう、関係機関や団体と連携して、防災総合訓練を開催しています。今回の訓練では、いくつかの学区でも地域の防災訓練を同日に実施し、地域住民との協力体制を確認しました。

災害対策本部が置かれた運動公園では、電気・ガス・水道といったインフラ設備の応急復旧や、ヘリコプターによる中層建築物からの救出救助、災害ボランティアセンターの設置・運営などの訓練を実施。各学区コミュニティセンターに設置された現地対策本部との情報伝達訓練も実施されました。馬淵コミュニティセンターでは、がれきからの人命救助やマンホールトイレ設営の訓練が初めて行われ、参加した人たちは「こんな設備があるとは知らなかった。もし本当に必要な時が来たら、訓練を生かしたい」と話していました。

山田恵美 赤こんリポーター



親子で和菓子の世界に触れる 練り切りづくり体験

8月25日、G-NETしが調理実習室で市内子育て支援団体Hugbaby主催の親子練り切りづくり体験が開催されました。講師に「和菓子司　近江三方庵」（出町）の職人を招き、玉菊や朝顔の練り切り菓子の作り方を実演いただき、参加者らも挑戦。同じ材料で同じものを作っているのに、一人ひとりオリジナルな練り切り菓子が出来上がりました。参加者らは「見ていた時は簡単そうだったのに、いざ作ると難しかった」「初めて作ったが、とても楽しかった」と話していて、日本の歴史や季節感から生まれた伝統文化である和菓子の世界に触れる機会になったのではと思います。

松村美沙枝 赤こんリポーター



少し大人な子どもの居場所 出町しゅくだいカフェ

夏休みの期間中の毎週水曜日、14区自治会館では「出町しゅくだいカフェ」が開催されました。学童を利用していない小学校高学年や中高生が対象の居場所としてオープン。「スマホやゲーム機器の使用不可」というルールは定めているものの、宿題のほかに読書やカードゲーム、ボードゲーム、DVD鑑賞、おやつタイムなど、参加者は学習だけにとらわれずに思い思いの方法で過ごしていました。また高校生が下の子たちの分からない勉強を教えるなど、学年を超えた交流も。この取り組みは、冬休みにも開催の計画をされているようです。

三上香帆 赤こんリポーター



竹林と重厚な石垣が残る 八幡公園でリフレッシュ！

市内に豊臣秀次公ゆかりの美しい竹林スポットがあるのをご存知ですか。今、大河ドラマなどで豊臣一族に注目が集まっていますが、ここ八幡公園は、秀次公が天正13年に築城した八幡山城の居館跡です。一歩足を踏み入れると、青々とした竹林の中に重厚な石垣群が続き、当時の面影が今も息づいています。

長い階段が続くので、日頃の運動不足解消やリフレッシュにもぴったり。緑豊かな木漏れ日の中を爽やかに散策しながら、かつての歴史のひとコマに触れてみませんか。ちょっとしたお出かけや気分転換に、ぜひ気軽に足を運んでみてくださいね。

向坂奈穂美 赤こんリポーター



生演奏にただ夢中になれる、 特別なひととき

8月16日、近江八幡音楽祭に向けたプレコンサートが開催されました。八幡堀の近くにある「白雲館」のテラスにステージが設置され、屋外での立ち見観覧という開放的なスタイル。ピアノとヴァイオリンの繊細な音色、そしてソプラノの美しい歌声が心地よく響き渡ります。本物の音楽にふれる特別な時間は、まさに非日常。地元の人も子どもたちも、そして観光で訪れた海外の人も、迫力ある生演奏に魅了され、世代や言葉の違いを超えて同じひとときを楽しみました。「第1回近江八幡音楽祭」は10月3日・4日に開催されます。あなたも心揺さぶる生演奏の魅力を味わってみませんか。